

東北現地派遣、今年で終了



6次派遣チームの報告会 11月17日開催

現地と手紙を交換する一などで、今後、理事会で検

東北交流の現地派遣は2015年度で終了することになりました。9月1日に開かれた理事会で決定、同15日の運営委員会でも了承されました。6次派遣隊の報告会をジョイラックデーの11月17日(火曜日)にカレッジホールで実施することと東北物産展を今後、開催しないことも決まりました。

報告会の中身は①派遣隊メンバーの体験談②パワーポイントで6次派遣の記録を大画面に写し、1-6次派遣のまとめ③ホールの入り口でパネル7、8枚に写真を展示などです。

東北へは震災直後の2011年から2015年7月まで6回、仙台市、名取市、女川町などの仮設住宅や小学校、保



再建されたJR女川駅 温泉も併設されている

育所などで昔遊び、マジック、銭太鼓、大道芸などの公演を実施してきました。停止の理由は、まず、震災から5年が経過、グループわとして一定の役割を果たすことが出来たと思われること。住民のニーズが変化し、これまでの公演中心のサポートを継続することには限界があること。震災当初から福祉医療機構から助成金を受けて活動してきたが、3年で打ち切りとなった。10数人派遣には120万円はかかり、派遣隊を編成して支援するには経費がかかりすぎる。さらに助成金は今後、あまり期待出来ず、持続的な活動の継続は難しくなったことがあります。

1日の理事会では、今後の東北交流について、せっかく繋がった縁を断ち切るのは忍びない、細く長く続けたいという意見が出ました。例えば①現地の子どもたちへのクリスマスプレゼント②復興住宅で餅つきをするなら、もち米や現金を贈る③絵手紙や俳句などで

討することになります。

東北6次派遣の経費は 72万円

東北6次派遣の資金は72万円(サポート募金22万円、県の助成金50万円)。経費は72万円(交通費184,000円、宿泊費243,000円、レンタカー代など、現地交通費93,000円、通信・運搬費2万円、園児らへの遊び道具の材料費・みやげ代など18万円)でした。

サポート募金の26年度の繰り越し75万円、27年度の新規募金は30万円でした。6次派遣で22万円遣いましたので残りは83万円となります。

第6次東北交流に助成金50万円

兵庫県・市町生活支援協議会は、**くわ**が先に申請していた第6次東北交流事業の助成金について6月19日付で50万円を交付することを承認しました。

(取材・編集 広報・永野知己)

東北支援へのご協力に感謝

グループわ が2011年4月から5年間、続けてきた東北支援事業は、この7月に実施した第6次チームで一応終了することになりました。

田んぼ作業に奮闘した第1次チーム、初めて仮設住宅を訪問した第2次チーム、料理やスポーツで交流した第4次チーム、自治会と地域ボランティアについて討議した第6次チーム…。いずれも地元の子供たちや地域の皆さんと実り多い交流を重ねることができました。派遣人員も延べ80人にのぼり、これらの費用の多くは**くわ**の会員や現役の皆さまから寄せられた「サポート募金」を活用させていただいたものです。メンバー派遣には昔あそび、マジック、銭太鼓など各サークルのお世話になりました。オールKSCで取り組んできた東北支援事業にご協力くださった多くの皆さまに、誌上を借りてあつく御礼申し上げます。

東北の皆さんと築いてきた絆は、何らかの形で継続したいと考えています。今後ともご支援をよろしくお願いします。

(理事長 小畑浩昭)